

役員名簿

(平成7年6月1日)

役職名	氏名	略歴
理事長	高島良正	理学博士 九州大学名誉教授 福岡大学客員教授
副理事長	中西弘	工学博士 山口大学名誉教授 大阪工業大学工学部教授
専務理事	小林博之	前当協会総務部長
常任理事	亀井吉次	九州電力(株)常務取締役
常任理事	花嶋正孝	工学博士 福岡大学工学部教授
常任理事	松藤泰典	工学博士 九州大学工学部教授
常任理事	持田勲	工学博士 九州大学機能物質科学研究所教授
理事	浅野直人	福岡大学法学部教授
理事	有吉敏彦	薬学博士 長崎大学薬学部教授
理事	石西伸	医学博士 九州大学名誉教授 中村学園大学教授
理事	江川博明	工学博士 熊本大学名誉教授 熊本工業大学教授
理事	大嶋文男	福岡教育大学教授
理事	岡部史郎	理学博士 東海大学海洋学部教授
理事	川野田実夫	大分大学教育学部教授
理事	北川義男	南九州大学園芸学部助教授
理事	楠田哲也	工学博士 九州大学工学部教授
理事	税所俊郎	農学博士 鹿児島大学水産学部教授
理事	櫻井日出生	医学博士 前福岡県医師会会長
理事	佐々木 實	工学博士 九州芸術工科大学名誉教授 東和大学工学部教授
理事	白石哲	農学博士 九州大学農学部教授
理事	杉本正美	農学博士 九州芸術工科大学芸術工学部教授
理事	薛孝夫	農学博士 九州大学農学部助教授
理事	野田道宏	理学博士 佐賀大学名誉教授 佐賀女子短期大学学長
理事	萩島哲	工学博士 九州大学工学部教授
理事	藤井正博	工学博士 当協会環境部長・分析科学部長・開発部長
理事	古屋廣高	工学博士 九州大学工学部教授
理事	光吉健次	工学博士 九州大学名誉教授 (財)福岡都市科学研究所理事長
理事	柳勝美	理学博士 九州産業大学国際文化学部教授
理事	矢幡久	農学博士 九州大学熱帯農学研究センター教授
理事	吉永俊一	工学博士 九州産業大学工学部教授
監事	永野博生	(株)福岡銀行監査役
監事	前田克明	(株)福岡銀行監査役
顧問	細川巖	理学博士 福岡教育大学名誉教授 前当協会理事長
顧問	竹下健次郎	工学博士 九州大学名誉教授 前当協会副理事長
顧問	塚原博	農学博士 九州大学名誉教授 (財)福岡県筑前沿岸漁業振興会会長
顧問	白石直典	工学博士 前当協会理事
顧問	古海輝雄	弁護士 古海法律事務所

一 編 集 後 記 一

◇戦後50年、21世紀を目前にして、世界は激動の時代に突入しています。予想もしなかったことや前例のない大きな社会的問題が次から次へと起こっています。日本を例にとってみても、阪神大震災やサリン事件などに加え、経済の長期に亘る慢性的不況、超円高による産業競争力の低下と空洞化の懸念など、日本の社会経済を根底から揺さぶり破局的シナリオともなりかねない憂慮すべき状況にあります。係る諸問題を打開するため、対症療法的解決策を模索するだけでなく、今こそ、根本的解決に向けて、枠にとらわれない自由な発想と想像力が望まれるときではないでしょうか。

◇さて本号では、三人の先生方から論説を賜りました。論説3編に共通のキーワードは、“安全第一”でありましょう。放射能問題にしても、最近フランスが核実験を再開すると報道されていますが、日本は世界唯一の被曝国であり、核実験を許容できるものではありません。冷戦が終結した現在、核実験は必要ないはずですが。この核実験によって他の核保有国の実験再開へと連鎖反応の引き金になることが懸念されます。各国が実験に反対

している中で、日本は核実験再開にもっと毅然たる態度を示すべきです。地球生態系を脅かす人為的環境破壊行為は後継世代に重いツケを回すことになるでしょう。次に、21世紀に向けた新しい都市づくりには、阪神大震災を教訓にして安全で、利便性を備え、快適な生活ができる美しい魅力ある都市が求められるでしょう。環境問題にも配慮するのは当然ですが、景観も地域の特性を生かし、住民の美意識を反映したものであってほしいと思います。

◇本年6月から、細川理事長並びに竹下相談役が辞任され、両先生はいずれも顧問に就任されました。そのあと高島副理事長が理事長に、中西常任理事が副理事長に就任されました。顧問の細川先生並びに竹下先生は、当協会の創立に当たり人材育成、財政確立、組織づくりなどの基盤整備に当たられ、協会事業の充実発展に尽力されました。理事長の高島先生並びに副理事長の中西先生におかれましても一層のご指導、ご支援を願ってやみません。

(高尾)

財団法人 九州環境管理協会会報「環境管理」第24号

平成7年8月31日発行

発行者 高 島 良 正

発行所 (財)九州環境管理協会

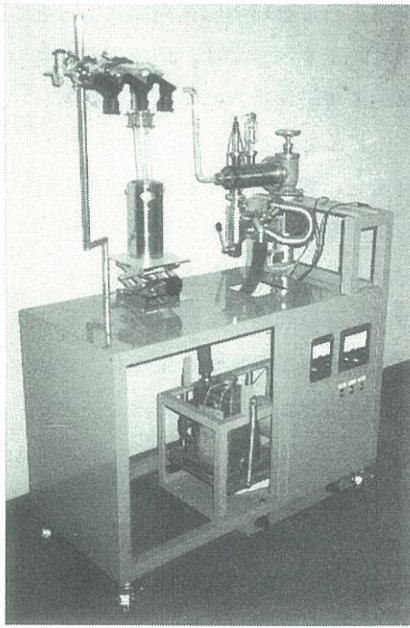
〒813 福岡市東区松香台1丁目10-1

電 話 福岡 (092) 662-0410(代)

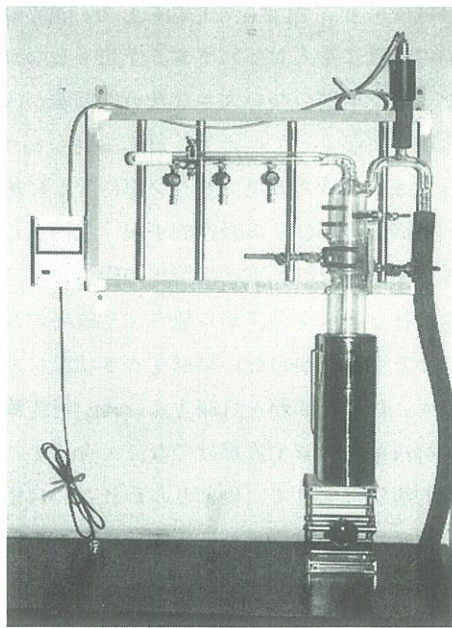
印刷所 (有) 一 正 堂

高真空排気装置

THV - 100型



TH - 100型



本装置は弊社が独自の技術に基づき開発した主に化学実験研究用の高真空排気装置です。従来の高真空排気装置に比し、本装置は排気ラインを単純化し、N₂トラップ、テフロンニードルバルブ類をより機能的な位置にレイアウトし、高真空中での濃縮、蒸留、回収等あらゆる条件の高真空実験に耐える装置です。

(特長)

- 本装置に組み込まれている油拡散ポンプは、コンパクトで、しかも排気能力が大きく空気冷却方式ですので、取り扱いが簡単です。又、金属三方弁を使用していますので切り替えがワンタッチで行えます。
- 装置全体がキャスター付きの架台上にセットされていますので、電源さえあれば、どのような場所でも高真空が得られます。又、真空測定機（電離真空計、ピラニー真空計）も内蔵されていますので、容易に目的の真空度が得られます。
- 硝子N₂トラップの容器部分は、ライン側とはOリングでシールされているのでリークしにくく、取り外しが簡単です。又、主要部はパイレックス硝子ですので、マイクロ蒸留濃縮、回収、乾燥等に使えます。

(仕様)

- ★油回転ポンプ 100 ℓ/min ★油拡散ポンプ 220 ℓ/sec ★真空度 2×10^{-7} Torr
- ★真空測定機（電離真空計+ピラニー真空計） $1 \sim 1 \times 10^{-7}$ Torr ★金属デュワー瓶 1 ℓ
- ★オールパイレックス硝子製真空ライン（大型N₂トラップ、テフロンニードル付き）
- ★電源 AC100V0、4KW

野見山理化

福岡県福岡市東区菅松町1丁目4-23

TEL (092) 611-6427

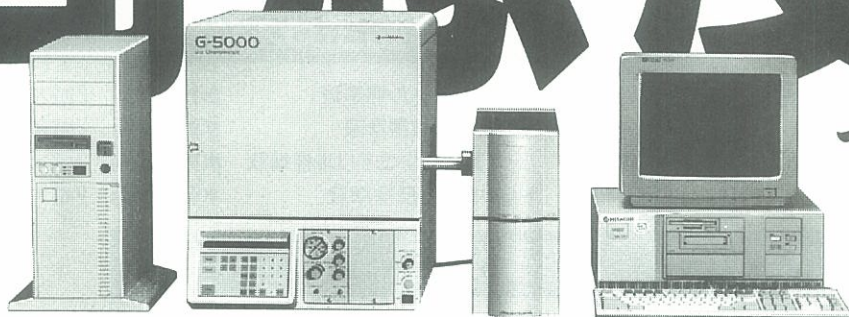
FAX 611-6468

HITACHI

追求したのは、

高感度

です。



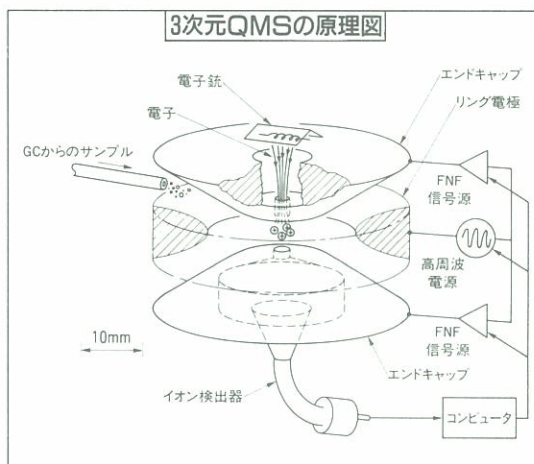
感度の壁を超えるGC/MS新登場!

新方式で従来にない選択性と高感度を実現。

医療品、環境、材料分野で求められる複雑な混合系中の微量成分の解析・定量のニーズのために…。日立の“3次元QMSシステム”は、高感度な分析に対応するためにFNF*方式を採用。微量成分の検索や夾雑物の多い試料の極微量分析に威力を発揮します。

FNF: Filtered Noise Field

- イオンを十分に閉じ込めてから分析するため高感度です。
- 特定イオンを選択的に閉じ込めるため超微量分析が可能です。
- 夾雑イオンを除去するため安定した測定が行えます。
- コンパクトデザインにより卓上での操作が可能です。



M-7200 日立GC/3次元QMSシステム

日製産業株式会社 本社 〒105 東京都港区西新橋一丁目24番14号 電話/東京(03)3504-7311(ダイヤルイン)
 事業所 北海道(011)221-7241・東北(022)264-2211・茨城(0298)23-7391・北関東(048)653-2341・千葉(043)247-415
 西関東(0426)43-0080・横浜(045)451-5151・厚木(0462)96-6831・新潟(025)241-3011・北陸(0764)24-3386・豊田(0565)28-519
 中部(052)583-5841・京都(075)241-1591・関西(06)366-2551・西国(0878)62-3391・中国(082)221-4514・九州(092)721-350
 沖縄(0988)78-1311

株式会社 日立製作所 計測器事業部/〒100 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号(新丸ビル) 電話/東京(03)3212-1111(大代)

特約店 桜木理化学機械株式会社 本社 福岡市博多区千代四丁目4番23号 電話/福岡(092)651-9561
営業所 北九州営業所・佐賀鳥栖営業所

水質試験用試薬 新水道法対応

揮発性有機化合物分析

228-01241	16VOC混合標準液 (基準項目16成分混合)	水質試験用	2mL×10A
229-01271	23VOC混合標準液 (16VOC+監視項目7成分混合)	水質試験用	2mL×10A
021-12041	p-プロモフルオロベンゼン標準液 (内部標準原液)	水質試験用	2mL×10A

※単品標準液も各種あります。

消毒副生成物分析

036-15711	抱水クロラール標準液	水質試験用	2mL×10A
041-24471	ジクロロ酢酸標準液	水質試験用	2mL×10A
048-24481	ジクロロアセトニトリル標準液	水質試験用	2mL×10A
201-12861	トリクロロ酢酸標準液	水質試験用	2mL×10A

農薬分析

農薬標準品 各種
 残留農薬分析専用カラム(9成分一斉分析)
 ワコーバック WS Agri-9 4.6×250mm, 4.6×150mm
 オキシ銅分析用
 ワコーバック WS-Cu 4.6×150mm

金属分析

139-11871 多元素混合標準液 W-IV
 ICP用 50mL

混合元素種	濃度 (mg/ℓ)
Cd	100
Cr	100
Cu	100
Fe	100
Mn	100
Na	100
Pb	100
Zn	100
in 0.1mol/ℓ HNO ₃	

無機物質分析

136-11881 陰イオン混合標準液
 イオンクロマト用 50mL

混合イオン種	濃度 (ppm)
NO ₃	20
NO ₂	10
F	50
Cl	200

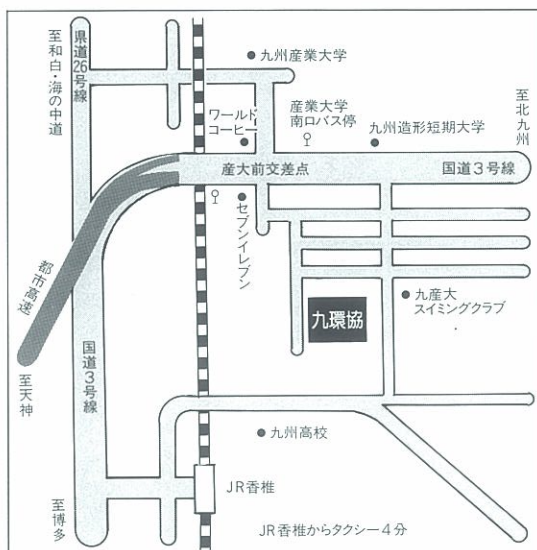
※詳しくは、新水道法対応「水質試験用試薬」カタログをご請求ください。

和光純薬工業株式会社

本 社 大阪市中央区道修町三丁目1番2号
 〒541 電話 大阪(06)203-3741(代表)
 東京支店 東京都中央区日本橋本町四丁目5番13号
 〒103 電話 東京(03)3270-8571(代表)
 出張所 福岡・広島・名古屋・横浜・大宮・筑波・仙台・札幌

業務内容

計画・設計	環境管理計画 環境保全計画 都市計画 農村環境計画 公園・緑地計画設計 文化財保存整備計画
予測・解析	環境アセスメント 数値シミュレーション 景観シミュレーション 環境・都市情報システム開発
調査・分析	海洋調査 植生・動物調査 微生物分類・同定 景観調査 水質・大気質分析 農薬分析 底質・土壌分析 悪臭分析 騒音・振動調査
放射能	放射性炭素年代測定 環境放射能測定・調査・解析



ECOLOGY COMMUNICATION

地球をやさしく見つめる

財団法人 九環協

〒813 福岡市東区松香台1丁目10番1号

☎ (092)662-0410(代表)

FAX (092)662-0411

